

注目 ニュース	#	日付	FA名	ニュースタイトル	ニュース概要	感染症種別	ニュース種別								関連リンク		
							FAの 戦略/方針	ワクチン開発 進捗	取組		資金提供			イベント		組織設立 ・再編	
									当該FA	支援対象機関	重点感染症	その他疾患	外部からFAへ				
	249	2023/11/2	NIH	Tonix Pharmaceuticals' Vaccine Candidate, TNX-1800, Selected by NIH/NIAID Project NextGen for Inclusion in Clinical Trials	NIH NIAIDが、Project NextGenの一環としてCOVID-19経皮投与ワクチン候補であるTNX-1800を用いたPhase1試験を2024年下半期に開始する予定であることを発表。NIAIDは臨床試験の全費用を負担している。TNX-1800は組換え馬痘生ウイルスワクチンであり、SARS-CoV-2のスパイクタンパク質を発現。また、TNX-1800のベースとなるベクターで構成される天然痘・サル痘ワクチン候補TNX-801では、免疫不全マウスでVACV株よりも 1,000 倍以上弱毒化されることが示されたとしている。	コロナウイルス感染症		●		●	●						リンク
	250	2023/11/2	CEPI	CEPI and University of Oxford advance vaccine work against potentially deadly Arenaviruses	CEPIは、University of Oxfordに最大25mドルを提供することを発表。フニウイルスに対するワクチンの前臨床およびPhase1試験を通じたプロトタイプ開発を早期に完了させるとともに、ChAdOx技術の製造速度とスケールアップの向上も目指すとしている。当該プロジェクトは、2023年8月に発表されたCEPIとオックスフォード大学の戦略的パートナーシップの下で開始される最初のプロジェクトである。	アルゼンチン出血熱 (アレンウイルス/フニ ウイルス)		●	●		●						リンク
	251	2023/11/2	BARDA	Battelle Part of Team Selected to Support New Technologies to Prepare for Future COVID-19 Outbreaks	BattelleはProject NextGenの一環として、ヒト肺微小生理学的システム（microphysiological system：MPS）プラットフォームを開発するために、BARDAから6.1mドルを助成されたことを発表。当初はSARS-CoV-2感染のin vitroモデリングと治療法の検討を可能にする系として開発されるが、将来的にはインフルエンザも視野に含まれており、mRNAによるモノクローナル抗体の開発スケジュールの短縮、ウイルス検査の効率の向上、ワクチン投与の代替経路の検討に貢献する可能性があるとしている。当該プロジェクトは、BARDAとBattelleとの無期限納品/無期限数量（indefinite delivery/indefinite quantity：IDIQ）契約の一部として実行される予定。	コロナウイルス感染症		●	●		●						リンク
	252	2023/11/6	CEPI	The Netherlands bolsters world's pandemic preparedness with increased CEPI funding	オランダ保健スポーツ福祉省（Dutch Ministry of Health, Sports and Welfare）は、世界的な流行への備えを強化するためにCEPIに対し追加で14mユーロを提供することを発表。オランダ政府は2020年、CEPIに対し新型コロナウイルス感染症ワクチンポータルを推進するために、最初に50 mユーロを投資。	コロナウイルス感染症	●		●		●						リンク
	253	2023/11/8	WHO UNICEF Gavi	WHO, UNICEF, and Gavi, the Vaccine Alliance pass the mid-point of the global 10-year strategy to eliminate yellow fever epidemics	WHO、UNICEF、Gaviが主導するパートナーシップである黄熱病流行撲滅戦略（Eliminate Yellow Fever Epidemics Strategy：EYE Strategy）は、2022年の中間評価報告書（2017年～2021年）を発表。EYE Strategyの世界的な連携による貢献で、2017年以来アフリカでは黄熱病単回接種ワクチンによって2億2,600万人が保護されてきたとしている。また、課題として、予防・管理措置のための各国政府の関与を強化する必要性や、アウトブレイクへの準備、対応にも引き続き重点を置く必要があることに言及をしている。	黄熱病	●		●		●						リンク
	254	2023/11/8	UKRI	Improving the way we prepare for future COVID-19 variants	Science and Technology Facilities Council's (STFC) Hartree Centre、IBM Hartree National Centre for Digital Innovation (HNC DI)と共同で、人工知能技術を用いた分子シミュレーションにより、SARS-CoV-2の変異について、Sタンパク質がヒト受容体の標的と接触する構造を調査した結果を報告。オミクロン株の変異が元の野生型株、2つのオミクロン亜種と比較し、生物物理学的特性（変異Sタンパク質配列によって修飾された電荷や柔軟性など）の観点から、S受容体複合体の構造構造の変化にどのようにつながるかを明らかにした。	コロナウイルス感染症					●	●					リンク
★	255	2023/11/10	WHO BMGF	Accelerating Vaccine Development for Global Health Impact - a WHO Initiative to Prioritize Key Endemic Pathogens	WHOは世界的な風土病原体に対するワクチン開発の促進と優先事項の情報提供の一環として、Vaccine Value Profiles (VVP) を発出。VVPはワクチンのパイプラインおよび類似製品に関する、潜在的な公衆衛生、経済的、社会的価値について整理をおこなうため、現在入手可能な情報とデータの高レベルかつ全体的な評価を提供することを目的としている。 次の16のVVPが、全2巻として出版される予定であり、今回第1巻が発出。 第1巻：呼吸器合胞体ウイルス（RSV）、B 群連鎖球菌、CMV、赤痢菌、バラチフス菌A、腸毒素原性大腸菌/ロウイルス、リーシュマニア症、顧みられない熱帯病。 第2巻：肺炎桿菌、淋菌等（2023年後半予定） VVPはBMGFからの資金援助のもと、WHOの予防接種・ワクチン・生物製剤（Immunization, Vaccines and Biologicals：IVB）部門によって委託され、IVB のワクチン製品開発諮問委員会（Product Development for Vaccines Advisory Committee）の推奨に基づき、専門家によって作成された。	複数の感染症					●	●	●	●			リンク
	256	2023/11/16	BMGF	Micron Biomedical Receives \$23.6 Million to Accelerate Commercial Manufacturing of Needle-Free Vaccines and to Help Eradicate Measles	Micron BiomedicalはBMGFから無針ワクチンの大量生産に向けて、23.6mドルの助成金受けることを発表。製造施設への投資により、生後9か月の小児を対象とする初のマイクロアレイ技術ベースの麻疹風疹ワクチンの商品化が可能になるとしている。	風疹、麻疹							●		●		リンク
	257	2023/11/20	UNICEF Gavi	UNICEF and Gavi donate IT and waste management equipment to the Ministry of Health worth US\$3.2 million to strengthen Uzbekistan's immunisation programme	UNICEFとGaviはウズベキスタン保健省に対し、予防接種プログラムのためのIT機器の寄贈を含む3.2mドル超の支援を発表。 寄贈されたIT機器には3,000台のタブレットと 221台の遠隔温度監視システムが含まれており、ウズベキスタンの予防接種プログラムのデジタル化を支援するとしている。	-									●		リンク

